

重症心身障がい児（者）病棟〔南病棟〕

病棟紹介

医療とぬくもりが共にある、安心のケアを

重症心身障がい児（者）病棟〔南病棟〕では、脳性麻痺などの疾患により心身に重い障がいを抱え、日常生活に介助を必要とする患者さんが入院されています。医師・看護師・療養介助専門員・保育士・管理栄養士など多職種が連携し、生命を守る医療と成長発達の支援、生活の質（QOL）の向上を目指したチーム医療を実践しています。

患者さん一人ひとりの表情や動作に込められた“思い”を感じ取り、ゆったりとした時間の中で、その人らしい生活を支える看護を行っています。

療育活動

「できた」を一緒に喜ぶ、やさしい成長の場

南病棟では、毎日の生活がより豊かで楽しくなるよう、患者さん一人ひとりの状態や好みに合わせて、個別または小グループでの活動を企画・実施しています。患者さんの小さな笑顔や反応を見守りながら、一人ひとりに寄り添い、その人らしい時間を共に楽しむことを大切にしています。

また、お誕生日会、七五三・20歳を祝う会、七夕会、夏を楽しむ会、ハロウィン、クリスマス会など、年間を通して多くのイベントを開催しています。さらに、課外活動として、福祉タクシーを利用しての院外レクリエーションも行い、四季を感じる体験や地域とのつながりを大切にしています。

<活動内容>

- ・トランポリン
- ・楽器遊び
- ・散歩
- ・日光浴
- ・マッサージ
- ・メイク
- ・絵本の読み聞かせ
- ・お誕生日会・七五三・20歳を祝う会
- ・七夕会・夏を楽しむ会・ハロウィン・クリスマス会
- ・院外レクリエーション など



学び（愛知県立豊橋特別支援学校・つくし学級）

学びと療養がつながる、「つくし学級」

学齢期（小学部・中学部）の患者さんは、病棟内にある施設内教育「つくし学級」で、豊橋特別支援学校の先生方による授業を受けています。中学部を卒業した後は、ベッドサイドにて高等部・訪問教育の授業を受けている患者さんもいます。

学校は、個別に教育支援計画を作成し、体調や発達の状態に応じた授業を行っています。音楽・体育・図画工作といった教科や、特別支援学校ならではの「自立活動」「生活単元学習」など、多彩な内容で構成されています。子どもたちの「知る」「感じる」「表現する」力を引き出し「生きる力」を育みます。

子どもたちが安心して学び続けられるよう、医療スタッフと教育スタッフが日々緊密に連携しています。

ボランティア募集

南病棟では、重症心身障がいのある患者さんの穏やかな生活を支えるため、地域の皆さまにボランティアとして活動していただいています。行事や季節の飾りつけ、レクリエーションのお手伝い、患者さんとのふれあいなど、特別な資格や経験がなくてもできる活動です。

活動日は平日の10:00～15:00の間で、都合に合わせてご参加いただけます。初めての方には、活動前にオリエンテーションや見学を行っていただき、安心してご参加いただけるよう、丁寧にサポートいたします。

お問い合わせ：南病棟ボランティア担当（庶務係長）

TEL：0532-62-0301（代表）

